

原子力技術応用工学科 就職内定者 座談会

原子力技術応用工学科は、就職率の高さも自慢の一つです。就職先は、原子力だけでなく、放射線分野等、様々です。

今春卒業を予定している4年生に就職を控えての率直な意見を聞きました。

今回は、電力会社、電力関連会社、原子力関連会社、放射線関連企業、公務員など、9名の学生に集まって貰いました。

◆今の気持ち◆

Q：卒業、就職を目前にして、今の気持ちは？

「大学で得た知識を活用して、会社や社会の役に立ちたいです。」

みんな「模範回答だね（笑）」

「勤務先が東京の予定なので、仕事はもちろん、一人暮らしや、東京の街に早く慣れたい。自動改札とかね（笑）」

「卒業まで、あと2カ月ですが、一日一日楽しみたいです。就職はドキドキしますが、楽しむ気持ちを忘れずにやっていきたいです。」

「大学生活は短く、あっという間でした。入学した時の初心を忘れずにいたいです。」

「今はとにかく不安でいっぱいです。仕事や、職場での人間関係など、上手くやっていきたいです。」

「自分も不安です。」

「僕は、不安もあるけど、期待が大きいです。なるようにしかならないし（笑）新しい所へステップアップして行きたいです。」

「僕も期待の方が大きいです。早く就職したいです。早く自立したいので。意気込んでいます。」



原子力関連企業 合同説明会の様子

Q：不安も期待も含めて、楽しめるといいですね！

◆内定について◆

Q：内定を取れたコツみたいなものは、ありますか？

「大学の実習などに積極的に参加して、視野を広げたり、企業の人と話す機会があったりしたことが役に立ったと思います。」

「原子力への『思い』を面接の担当者へぶつけました！」

「僕も、面接で自分の気持ちを上手く伝えられたのが良かったと思います。」

「とにかくリラックスして、笑顔で面接を受けられたのが良かったと思います。面接官の笑いを取る事もできました（笑）」

「面接ではハキハキと話すことが大事だと思います。あとは、勉強や部活、資格取得、学外での活動などの経験が自信になったと思います。」

「僕は放射線取扱主任者と、技術士補の資格を持っているので、それが強みになったと思います。」

「面接では、話す内容はもちろんですが、返事をしたり、相手の目を見たりといった、受け答えの対応の仕方が重要だったと感じました。」

「他の人と違うアプローチができたと思います。説明会に出る以外にも、企業の採用担当者に積極的に電話して、担当者に話を聞いたりしました。諦めないことが大事だと思います。」



敦賀発電所で防護服を着る実習



災害用ロボットの实習風景

◆進路決定について◆

Q：進路を決定したのはいつ頃でしたか？また理由は？

「入学した頃から原子力の分野を考えていました。企業説明会や先生の話聞いて、志望先を絞り込んで、最後は、内定をいただいた所に決めました。これも、『縁』だと思います。」

「僕も、入学当初は原子力を考えていましたが、2年生で放射線を勉強してからは、放射線が医療など幅広い分野で社会貢献していることが分かり、放射線分野を目指すようになりました。」

「私は、3年生でプラント工学を学んで、原子力発電所の現場の仕事に興味を持ちました。電気を作り出す方へ進みたいと思って、電力会社を志望しました。」

「僕が進路を決めたのは、就活を始めてからです。3年の終わり頃、先生と相談して決めました。」

「僕はもう少し遅くて、4年の5月頃です。僕も先生と相談しました。」

Q: 入学当初からの志望を貫いた子もいれば、先生と話す中で決めていった子もいるんだね。

Q: 具体的に就職先を決めた理由は何ですか？

「僕はとにかく、現場第一！と考えて、選びました。」

「元々、2〜3社興味があって、そのうち2社から内定をいただきました。まったく分野の違う会社でしたが、業務内容などをよく考えて決めました。」

「僕の場合は、3年の秋に参加した『原子力安全塾』で先輩の話を聞いたのが大きかったです。企業に対するイメージができ、取得した資格を活かせると思いました。」

(原子力技術応用工学科では、毎年『原子力安全塾』と題して、本学科 OB で原子力・放射線関連企業に就職した先輩を招き、在学生との座談会を開催しています)

就職試験は、6〜7社と多く受けた学生もいれば、1社専願で受験し、見事内定を得た学生もいました。

就職難と言われる現在ですが、原子力技術応用工学科では、学生たちの卒業後の進路を見据え、原子力を含む発電や放射線分野、研究機関等と協働して、学外での実習を行っている他、資格取得の支援なども実施し、学生の就職につなげています。

今春卒業する学生たちも、原子力・放射線分野のこれからを担う使命感を持って、本学科に入学しました。本学科で得た経験を社会に出ても存分に発揮してくれることでしょう。彼らの活躍にご期待ください。